

総領事館便り6月号

★オンライン日本映画祭 2024 の開催

6月5日から7月3日にかけて、国際交流基金ジャカルタ日本文化センター主催オンライン日本映画祭 2024 が行われています。

6月5日から6月19日は日本の映画（22作品）、6月5日から7月3日は日本のドラマ（2作品）が専用サイトから事前登録の上、視聴可能です（日本国内からの視聴は不可）。

最新作や話題作など様々なジャンルの映画とドラマを楽しんでいただけますので、是非、お知り合いのインドネシア人の方にもご案内ください。

専用サイト：<https://jff.jpj.go.jp/watch/jffonline2024/indonesia/>



【上映映画一覧】

	作品名	監督	キャスト	ジャンル	公開年
1	銀河鉄道の父	成島出	役所広司, 菅田将暉, 森七菜	ドラマ	2023
2	ハケンアニメ!	吉野耕平	吉岡里帆, 中村倫也, 柄本佑, 尾野真千子	ドラマ	2022
3	そばかす	玉田真也	三浦透子, 前田敦子, 伊藤万理華, 北村匠海	ドラマ	2022
4	線は、僕を描く	小泉徳宏	横浜流星, 清原果耶, 細田佳央太, 河合優実	ドラマ	2022
5	梅切らぬバカ	和島香太郎	加賀まりこ, 塚地武雅	ドラマ	2021
6	騙し絵の牙	吉田大八	大泉洋, 松岡茉優, 佐藤浩市	ドラマ	2021
7	Single8	小中和哉	上村侑, 高石あかり	ドラマ	2023
8	マイ・ブローカー・マリコ	タナダユキ	永野芽郁, 奈緒, 窪田正孝	ドラマ	2022
9	土を喰らう十二月	中江裕司	沢田研二, 松たか子	ドラマ	2022
10	劇場版 おいしい給食 卒業	綾部真弥	市原隼人, 土村芳, 佐藤大志	ドラマ	2022
11	ベビーわるきゅーれ	阪元裕吾	高石あかり, 伊澤彩織	アクション/ドラマ	2021
12	第1回日本ホラー映画大賞 『みなに幸あれ』	下津優太		ホラー	2023
13	第1回日本ホラー映画大賞 『closet』	中野晃人		ホラー	2023

14	第1回日本ホラー映画大賞 『傘カラカサ』	ヤマトケンジ		ホラー	2023
15	第1回日本ホラー映画大賞 『招待』	三重野広帆		ホラー	2023
16	花束みたいな恋をした	土井裕泰	菅田将暉,有村架純	ロマンス	2021
17	ウェディング・ハイ	大九明子	篠原涼子,中村倫也,関水渚	コメディ/ドラマ	2022
18	ハンサム★スーツ	英勉	谷原章介,塚地武雅,北川景子	コメディ	2008
19	大名倒産	前田哲	神木隆之介,杉咲花,松山ケンイチ	コメディ/時代劇	2023
20	ジャングル大帝 劇場版	山本暎一	太田淑子, 勝田久	アニメ	1966
21	ほけますから、よろしくお願いします。 ～おかえりお母さん～	信友直子	信友良則,信友文子,信友直子	ドキュメンタリー	2022
22	二十四の瞳	木下恵介	高峰秀子,月丘夢路,笠智衆	クラシック	1954
23	下町ロケット（全10話）	福澤克雄	阿部寛,土屋太鳳,立川談春	TVドラマ	2015
24	陸王（全10話）	福澤克雄	役所広司,山崎賢人,竹内涼真	TVドラマ	2017

★ヒマワン前東ジャワ州労働移住局長に対する在外公館長表彰の授与

5月22日、竹山総領事は、東ジャワ州労働移住局長（2018年～2023年。2020年はモジョクルト県知事代行）として、日系企業の円滑な操業に貢献のあったヒマワン・エストゥ・バギジョ氏に対して、在外公館長表彰を授与しました。

同氏は、日系企業の抱える労務問題等に積極的に関与し、立場の異なる企業側と労働組合側との調整・仲介に尽力するなど、東ジャワ州内の日系企業の円滑な操業に貢献してきたことから、この度、その功績を顕彰し、同氏に対して在外公館長表彰を授与することとしました。

同氏は、約20年前から当総領事館と交流があり、日本や日系企業に対する深い理解もあることから、引き続き、東ジャワ州労働移住局の方々と共に、当地日系企業の円滑な操業に対する支援をお願いしました。



ヒマワン氏（中央。表彰状を持っている方）及び
東ジャワ州労働移住局関係者等との集合写真

★令和4年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「東ジャワ州トゥルンアグン県 イスラム小学校校舎」引渡し式

5月16日、竹山総領事は、日本政府の支援により東ジャワ州トゥルンアグン県のイスラム小学校に建設された校舎の引渡しを行いました。引渡し式には、トリ・ハリアディ・同県官房長や支援の対象となった学校関係者が出席しました。

今回新しい校舎と教室備品が整備された小学校は、生徒数の増加に学校設備が追いついておらず、一部の生徒は近隣モスクや教員宅で勉強することを余儀なくされていました。引渡し式において、竹山総領事は、今回の支援を通じて児童・教員が適切な環境で授業を行えるようになり、ひいては地域の教育の質の向上につながることを期待しており、整備された校舎や備品を最大限活用してもらいたい旨述べました。在スラバヤ日本国総領事館では、支援された校舎や学校備品が長期間最大限活用されるよう引き続き関係機関と連携していきます。



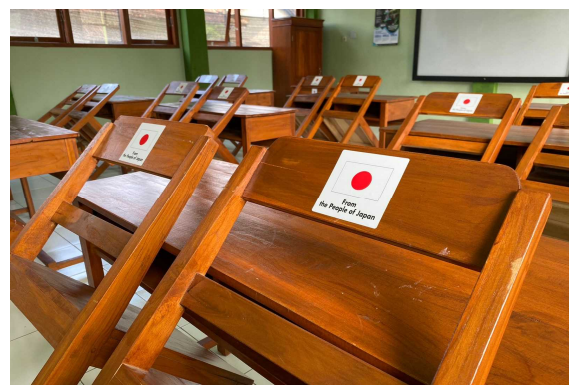
トゥルンアグン県官房長に日本からの支援について説明する竹山総領事



竹山総領事と今回支援の対象となった小学校の教員及び運営財団関係者



新たに建設された校舎
(2階建て、6教室)



今回の支援で供与された学校機材
(机・椅子、ホワイトボード)

★離着任の御挨拶

●濱渦 真紀子 領事（離任）

この度、4年7ヶ月の在スラバヤ日本国総領事館での勤務を終え、6月19日にインドのムンバイへ転勤となります。スラバヤでの生活は、公私にわたり充実した日々を過ごすことができました。当時小学3年生だった息子を帯同し初めて足を踏み入れたインドネシア。到着したジュアンダ空港で、息子が不安そうな顔で私の手をぎゅっと握って離さなかったのを強く覚えています。そんな息子はスラバヤ日本人学校で中学2年生となり、私の背も抜いてすっかり大きくなりました。我が家は母親の単身赴任に子供が帯同するという形でのスラバヤ生活でしたが、その中でも日本人学校の存在はかけがえのないもので、学校運営に関わるEJJCの皆様、先生方、職員の皆さまのおかげで安心して業務に集中することができました。また、EJJCのサークル活動にも参加させて頂き、少年サッカー、少年野球では週末の貴重な時間にもかかわらず、青年サッカー部や野球部の皆様には熱心にご指導頂きました。改めましてお世話になった皆様に感謝申し上げます。最後になりますが、皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。

●石川 淳 副領事（着任）

4月30日に、在留邦人の皆様や日本人学校に関わる安全対策、事件事故対応、在外公館施設の警備担当として総領事館に着任いたしました。大学時代に、東南アジアの政治経済を学びこの地域に大きな関心を持ち、インドネシアにある在外公館での勤務をかねてより希望していたことから、当地に赴任できたことを大変嬉しく思っております。

着任後、スラバヤ市内を中心に町の様子を見ておりますが、治安については比較的落ち着いている印象を受けております。今年に入り日本では、能登半島地震が発生するなど、地震が頻発しておりますが、インドネシアにおいても地震、噴火等の災害が発生していることから、平素よりEJJCの皆様と緊密な関係を築き、緊急時の際には素早い情報共有等ができるよう取り組んでいきたいと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。

（以上）